

## あとがき

今日は3月下旬というのに桜の開花宣言ができました。桜という昔は入学式のイメージでしたが、地球温暖化、正確には高温化、の影響で最近では3月下旬が定着しています。また世界の生態系も交雑し、日本の固有種が衰退し、我々ほとんどない動植物に囲まれて生活していますが意識していません。本学でも遺伝子組換え体の取り扱いには細心の注意が必要だと考えます。

本号では、日本歯科大学学長の中原泉先生にご多忙のところ巻頭言を執筆していただきました。がん告知の難しさについて問題提起していただいています。また本号には開

設4年を経過した外来化学療法センターの活動がまとめられています。本学はがん診療の拠点病院としてさらに整備される必要があります。

最終講義は法医学の遠藤任彦先生が、就任講義は薬理学の松岡正明先生が、これまでのお仕事を集大成して執筆されています。本学の創立100周年に向けてはいろいろな企画がありますが、生化学の友田燁夫先生による本学創設期の歴史の連載は、創設期の人々の苦闘を知るとともに、マネリ化しやすい我々の良きカンフル剤になります。

(坪井良治 記)

当該雑誌に掲載された論文の著作権は本医学会に帰属する。また本書の無断複写（コピー）は著作権法上での例外を除き禁じられている。



この印刷物はグリーン基準に適合した印刷資材を使用して、グリーンプリンティング認定工場が印刷した環境配慮商品です。  
インキは環境にやさしい植物油インキを使用しています。

平成22年4月25日 印刷

平成22年4月30日 発行

東京医科大学雑誌 第68巻 第2号

発行者 白井正彦

発行所 東京医科大学医学会  
(東京医科大学内)

〒160-8402

東京都新宿区新宿 6-1-1

TEL 03 (3351) 6141 (代)

FAX 03 (3226) 7030

e-mail address

igakukai@tokyo-med.ac.jp

印刷所 笹氣出版印刷株式会社

〒984-0011

仙台市若林区六丁の目西町 8-45

TEL 022 (288) 5555